

松江市公共施設適正化計画策定に向けた 市民アンケート調査

(結果報告書)

平成 26 年 3 月

松江市財政部管財課資産経営係

目次

1 アンケート調査の実施概要	- 1 -
2 あなたご自身(回答者の属性)	- 2 -
3 市の取組み	- 8 -
4 公共施設の利用状況	- 12 -
5 自由意見(概要)	- 26 -
6 まとめ(主な特徴)	- 28 -

1 アンケート調査の実施概要

(1) 目的

今年度に策定を予定している公共施設の適正化計画の基本方針と来年度から策定に着手する適正化計画の参考とします。

(2) 調査対象

平成 25 年 9 月 30 日現在、18 歳以上の松江市民 3,000 人

(住民基本台帳から無作為抽出)

(3) 実施方法

郵送法による無記名アンケート調査方式

(4) 実施期間

平成 25 年 11 月 21 日(木)から平成 25 年 12 月 20 日(金)

(5) 有効回収数

1,328 件 (有効回収率 44.3%)

(6) 集計結果の表記

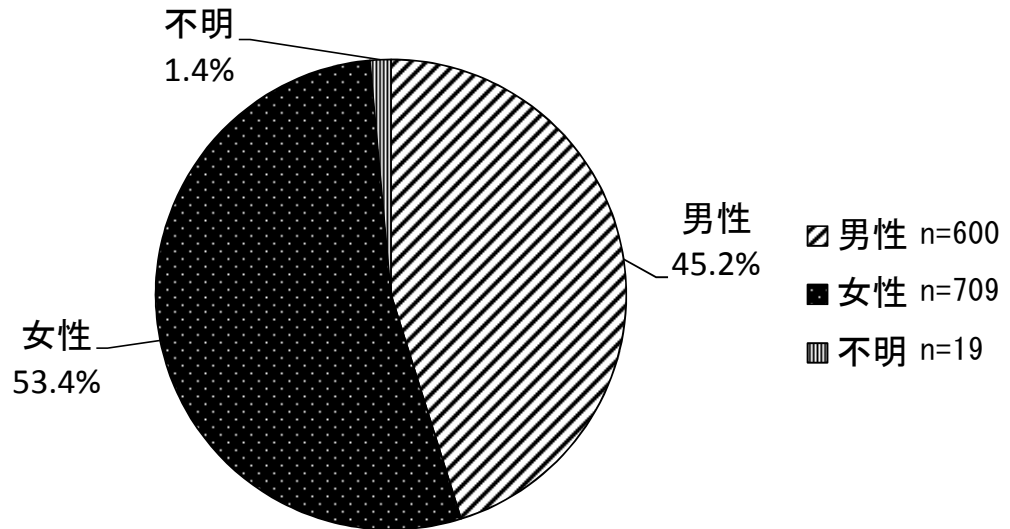
- ・不明は、未記入等により回答が分類できなかったものです。
- ・nは、回答数となります。
- ・各回答の割合(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表記しています。このため、合計が100.0%を上下する場合があります。
- ・旧松江市とは、平成17年3月31日の合併前の松江市となります。
- ・旧八束郡とは、平成17年3月31日の合併前の鹿島町・島根町・宍道町・玉湯町・美保関町・八束町・八雲村と、平成23年8月1日の編入前の東出雲町となります。

2 あなたご自身（回答者の属性）

(1) 性別

あなたの性別はどちらですか。

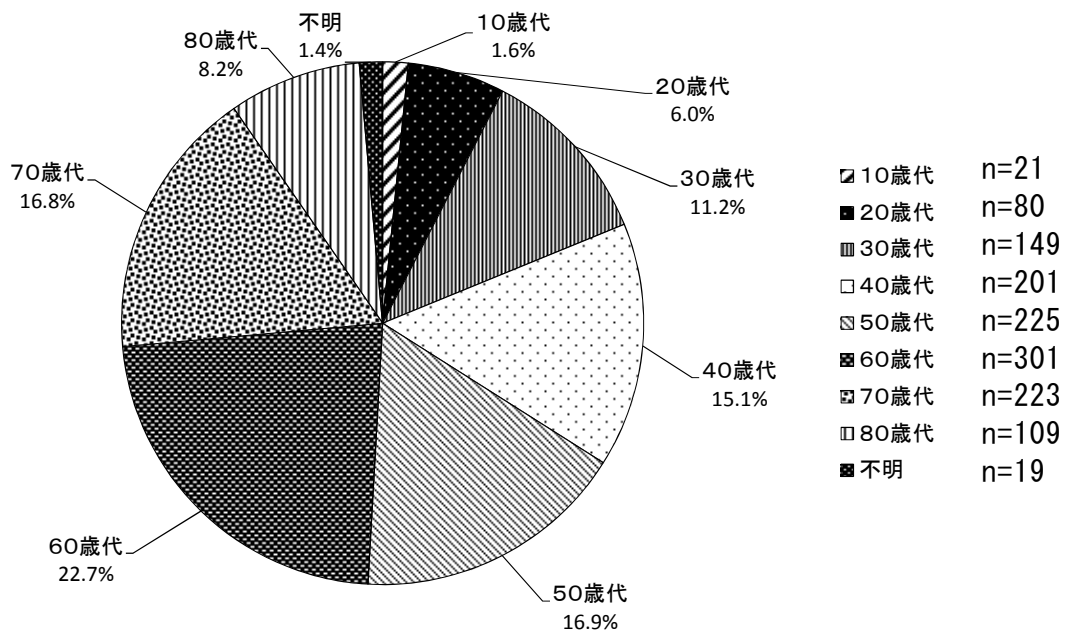
○ 「男性」が45.2%、「女性」が53.4%で、「女性」がやや多くなっています。



(2) 年齢階層

あなたの年齢は次のうちどれですか。1つ選んでください。

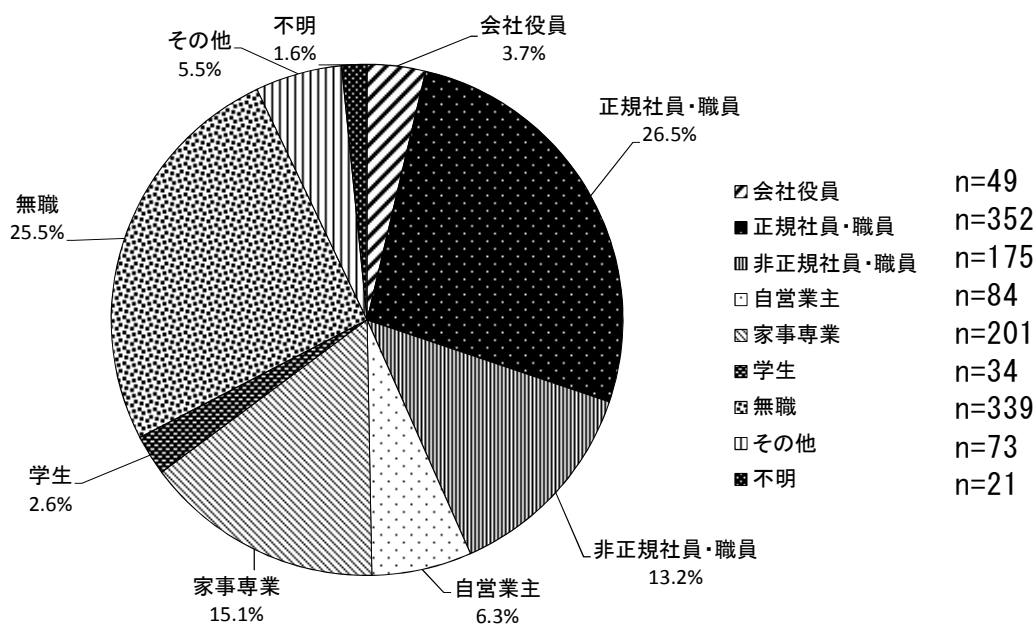
○ 「60歳代」が22.7%で最も多く、「10歳代」が1.6%と最も少なくなっています。



(3) 職業

あなたの職業は次のうちどれですか。1つ選んでください。

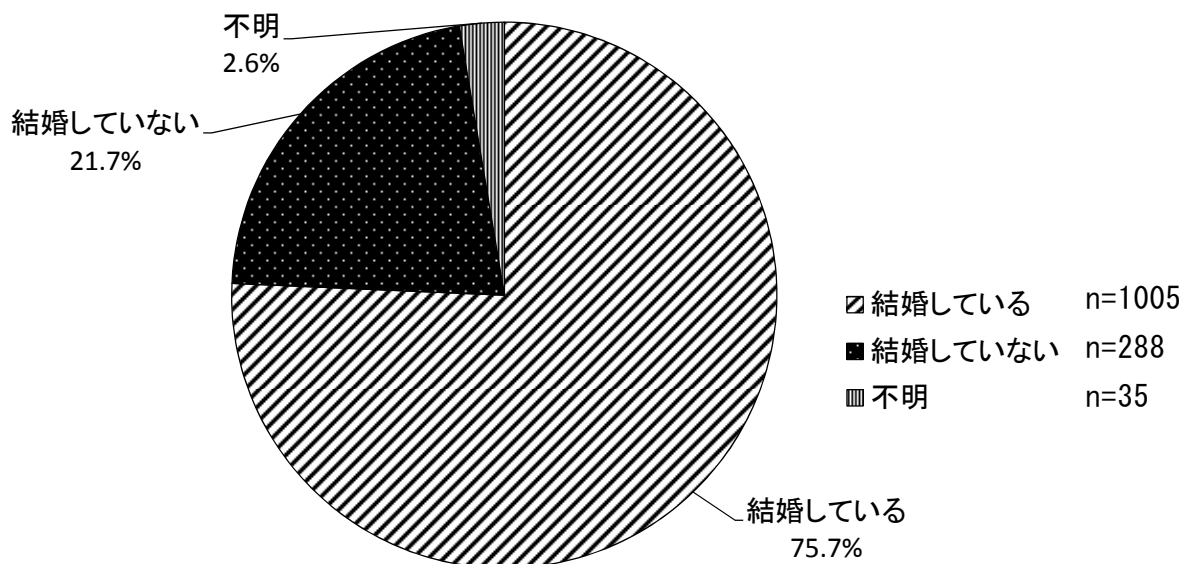
○ 「正規社員・職員」が26.5%で最も多く、「学生」が2.6%と最も少なくなっています。



(4) 結婚

現在結婚していますか。

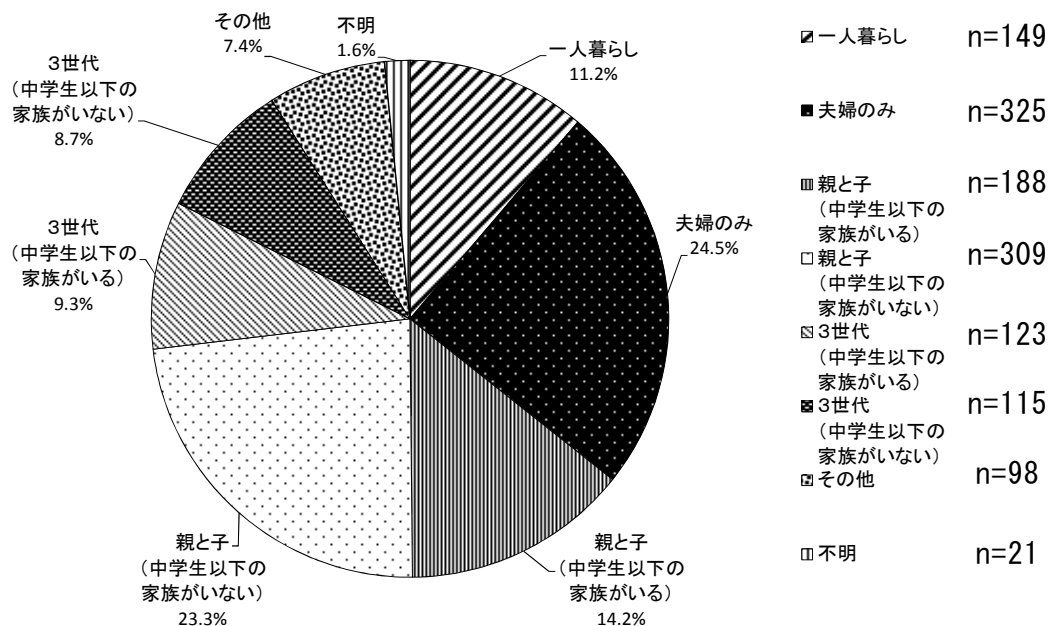
○ 「結婚している」が75.7%、「結婚していない」が21.7%で、約4人に3人が結婚しています。



(5) 家族構成

あなたの世帯は次のうちどれですか。1つ選んでください。

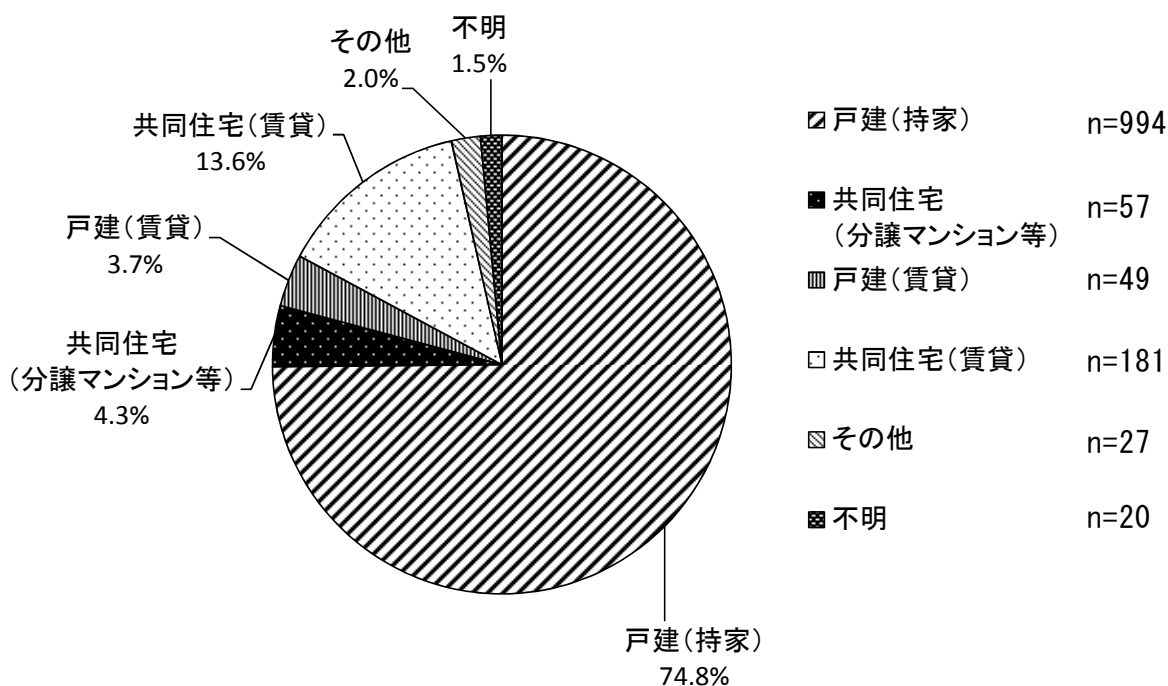
○ 「夫婦のみ」が24.5%で最も多く、「その他」が7.4%と最も少なくなっています。



(6) 住居

あなたの住居は次のうちどれですか。1つ選んでください。

○ 「戸建(持家)」が74.8%で最も多く、「その他」が2.0%と最も少なくなっています。



(7) 居住地域（公民館区）

あなたがお住まいの地域（公民館区）は次のうちどこですか。1つ選んでください。

- 「乃木」が7.8%で最も多く、「秋鹿」が0.5%と最も少なくなっています。
- 回答者のお住まいは、概ね各公民館区の人口分布に比例しています。

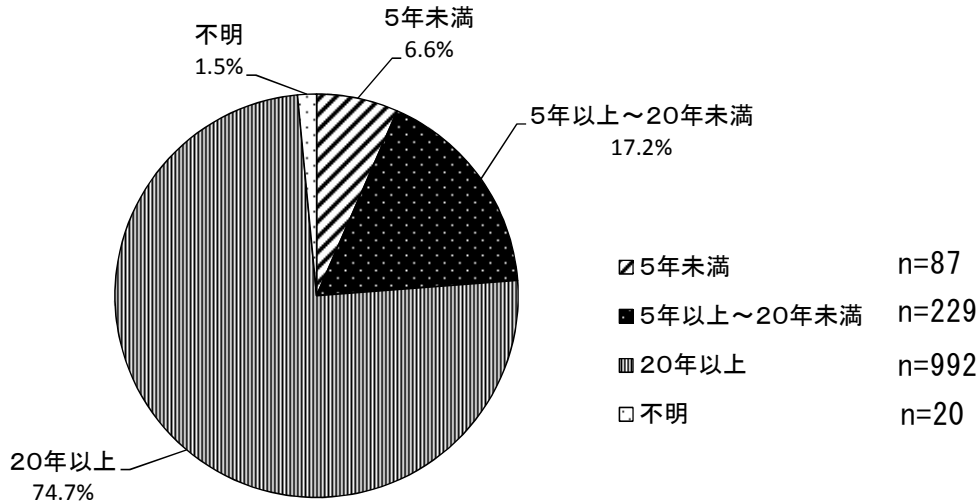
ブロック	公民館区	n	%	人口	%
中央	城西	70	5.3	9,189	4.5
	城北	52	3.9	7,634	3.7
	城東	40	3.0	8,087	3.9
	雑賀	39	2.9	5,504	2.7
	白潟	32	2.4	3,275	1.6
	朝日	30	2.3	4,389	2.1
	小計	263	19.8	38,078	18.4
松東	川津	93	7.0	16,049	7.8
	美保関	38	2.9	5,667	2.7
	持田	33	2.5	4,029	2.0
	本庄	23	1.7	2,628	1.3
	島根	23	1.7	3,741	1.8
	八束	22	1.7	4,080	2.0
	朝酌	14	1.1	2,066	1.0
	小計	246	18.5	38,260	18.5
松北	法吉	76	5.7	12,691	6.1
	鹿島	40	3.0	7,116	3.4
	古江	26	2.0	4,826	2.3
	生馬	19	1.4	3,909	1.9
	大野	9	0.7	1,436	0.7
	秋鹿	6	0.5	2,046	1.0
	小計	176	13.3	32,024	15.5
湖南	乃木	103	7.8	16,183	7.8
	宍道	58	4.4	9,078	4.4
	玉湯	34	2.6	6,522	3.2
	忌部	13	1.0	2,205	1.1
	小計	208	15.7	33,988	16.5
松南	津田	92	6.9	13,473	6.5
	東出雲	88	6.6	15,170	7.3
	古志原	78	5.9	12,846	6.2
	大庭	50	3.8	9,317	4.5
	八雲	50	3.8	6,933	3.4
	竹矢	38	2.9	6,350	3.1
	小計	396	29.8	64,089	31.0
	不明	39	2.9	-	-
	全体	1328	100.0	206,439	100.0

（参考）右は平成25年9月末現在の人口

(8) 居住年数

あなたは松江市にどのくらいの期間、お住まいですか。1つ選んでください。

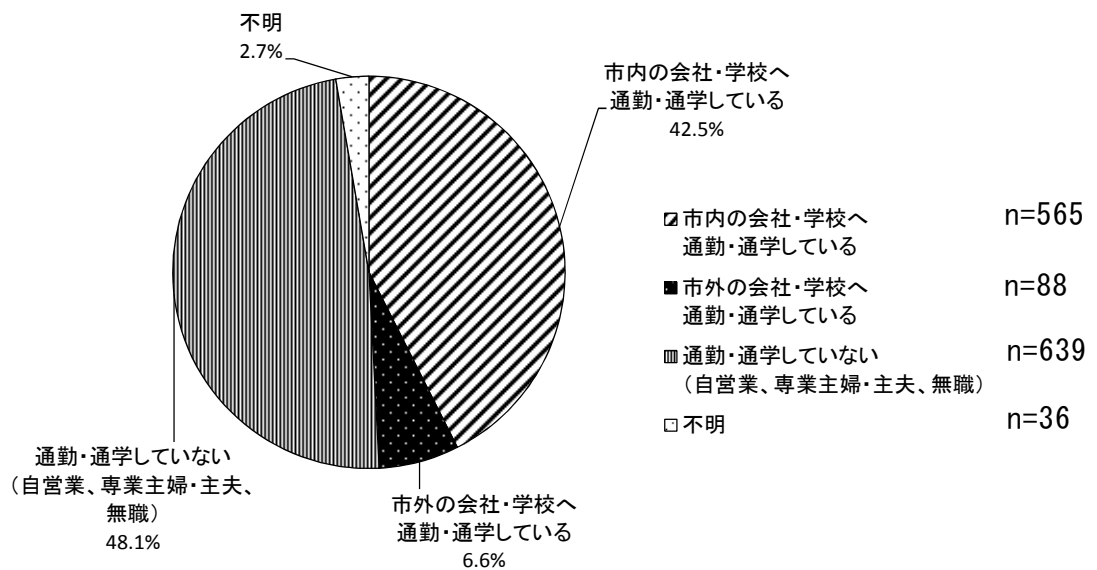
○ 「20年以上」が74.7%で最も多く、「5年未満」が6.6%と最も少なくなっています。



(9) 通勤・通学

あなたは松江市内の会社・学校へ通勤・通学していますか。1つ選んでください。

○ 「通勤・通学していない(自営業、専業主婦・主夫、無職)」が48.1%で最も多く、次いで「市内の会社・学校へ通勤・通学している」が42.5%となっています。

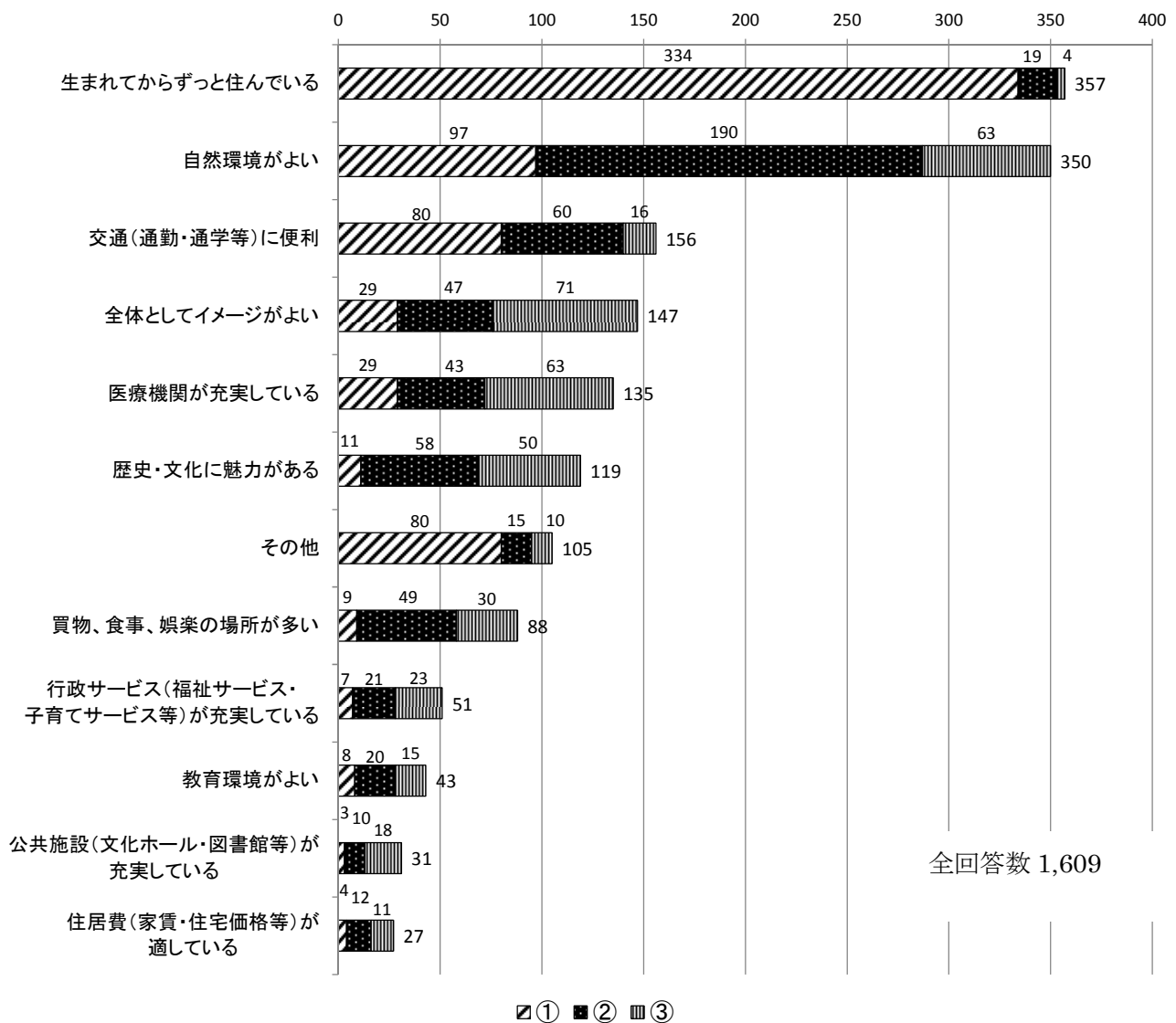


(10) 松江市に住む理由

あなたが松江市に住む理由は次のうちどれですか。最大で3つまで、強く当てはまる理由順に、①、②、③をご記入ください。(1つ、または2つだけでも構いません。)

- ①、②、③を合計すると、「生まれてからずっと住んでいる」が 357 回答で最も多く、次いで「自然環境が良い」が 350 回答となっています。
- ①に着目すると、「生まれてからずっと住んでいる」が 334 回答と特に多くなっています。
- 「その他」は 105 回答となっており、主な内容としては、親族が住んでいる、仕事の都合、結婚を契機などがあります。

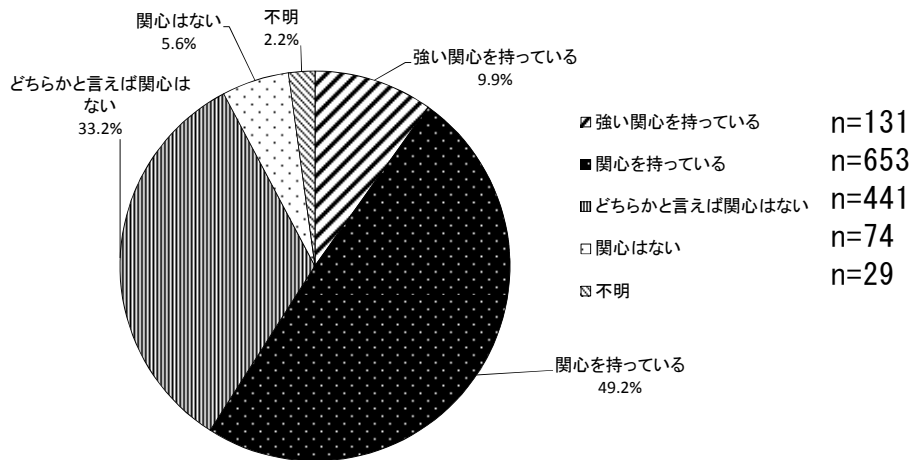
単位：回答数



3 市の取組み

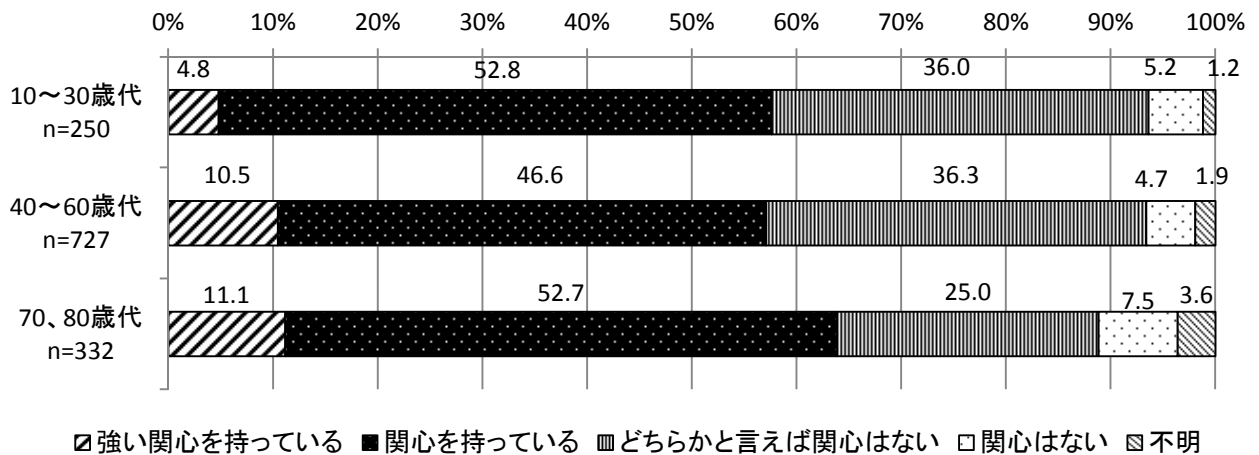
問1：市の公共施設の現状と課題について、あなたはどのくらい関心をお持ちですか？1つ選んでください。

- 「関心を持っている」が 49.2%で最も多く、「強い関心を持っている(9.9%)」を足すと、約6割の方が、市の公共施設の現状と課題について関心をもっています。
- 「どちらかと言えば関心はない」は 33.2%、「関心はない」は 5.6%となっており、両者を合計すると、約4割の方が関心を持っていません。



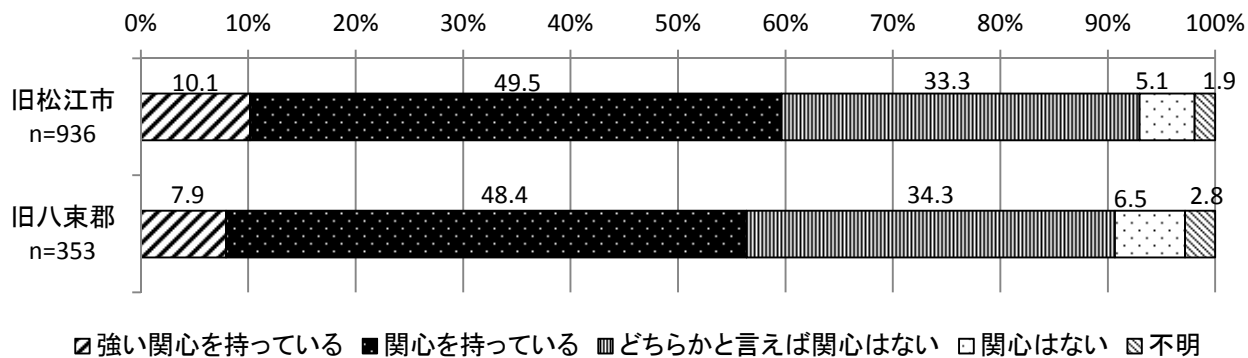
<参考：年齢階層別(3区分)の結果>

- 「強い関心を持っている」と「関心を持っている」の合計に着目すると、全ての年齢階層で約6割となっています。



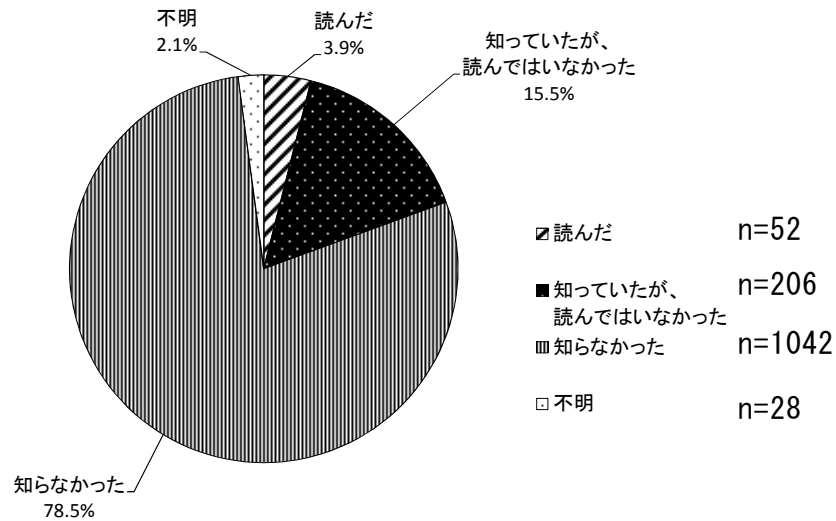
<参考:居住地別(2区分)の結果>

○「強い関心を持っている」と「関心を持っている」の合計に着目すると、旧松江市及び旧八束郡ともに約6割となっています。



問 2: 公共施設の見直しに向けて、施設ごとの利用状況、コスト状況などを「見える化」した『松江市公共施設白書』(平成25年 7 月に市がホームページ等で公表し、本庁・各支所に設置)を、あなたはお存じでしたか。1 つ選んでください。

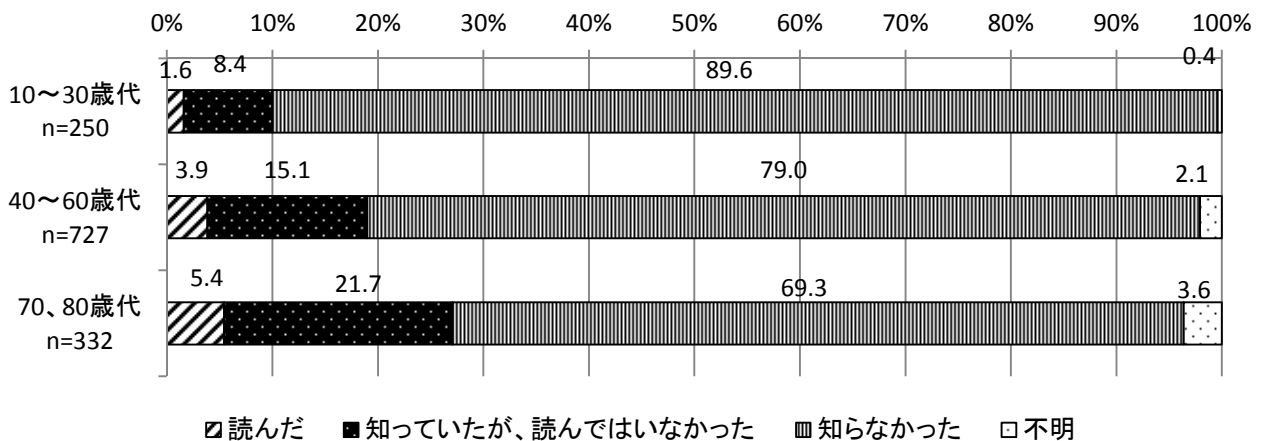
○ 「知らなかった(78.5%)」が約8割となっています。一方、知っている(「知ってはいたが、読んではいなかった(15.5%)」または「読んだ(3.9%)」と回答)は約2割となっています。



<参考: 年齢階層別(3区分)の結果>

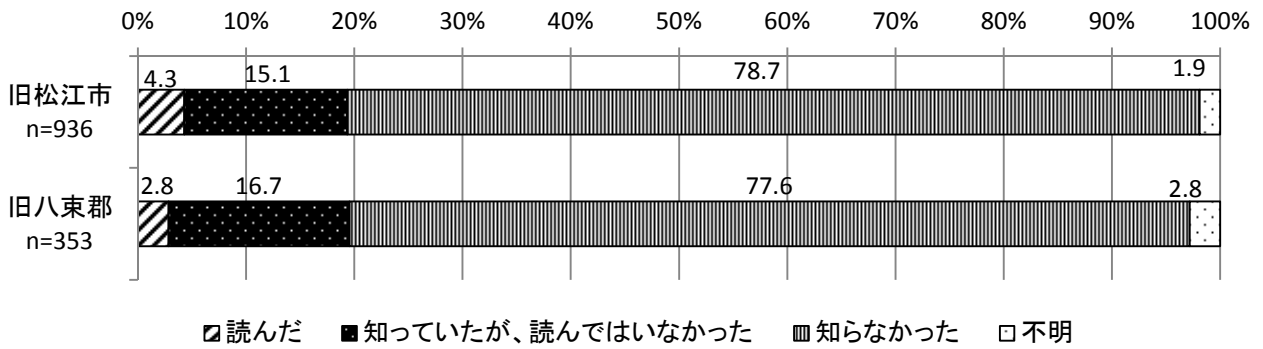
○ 知っている(「読んだ」または「知ってはいたが、読んではいなかった」と回答)は、高齢世代になるほど高くなっています。

○ 一方、「知らなかった」は若年世代ほど高くなっています。



<参考:居住地別(2区分)の結果>

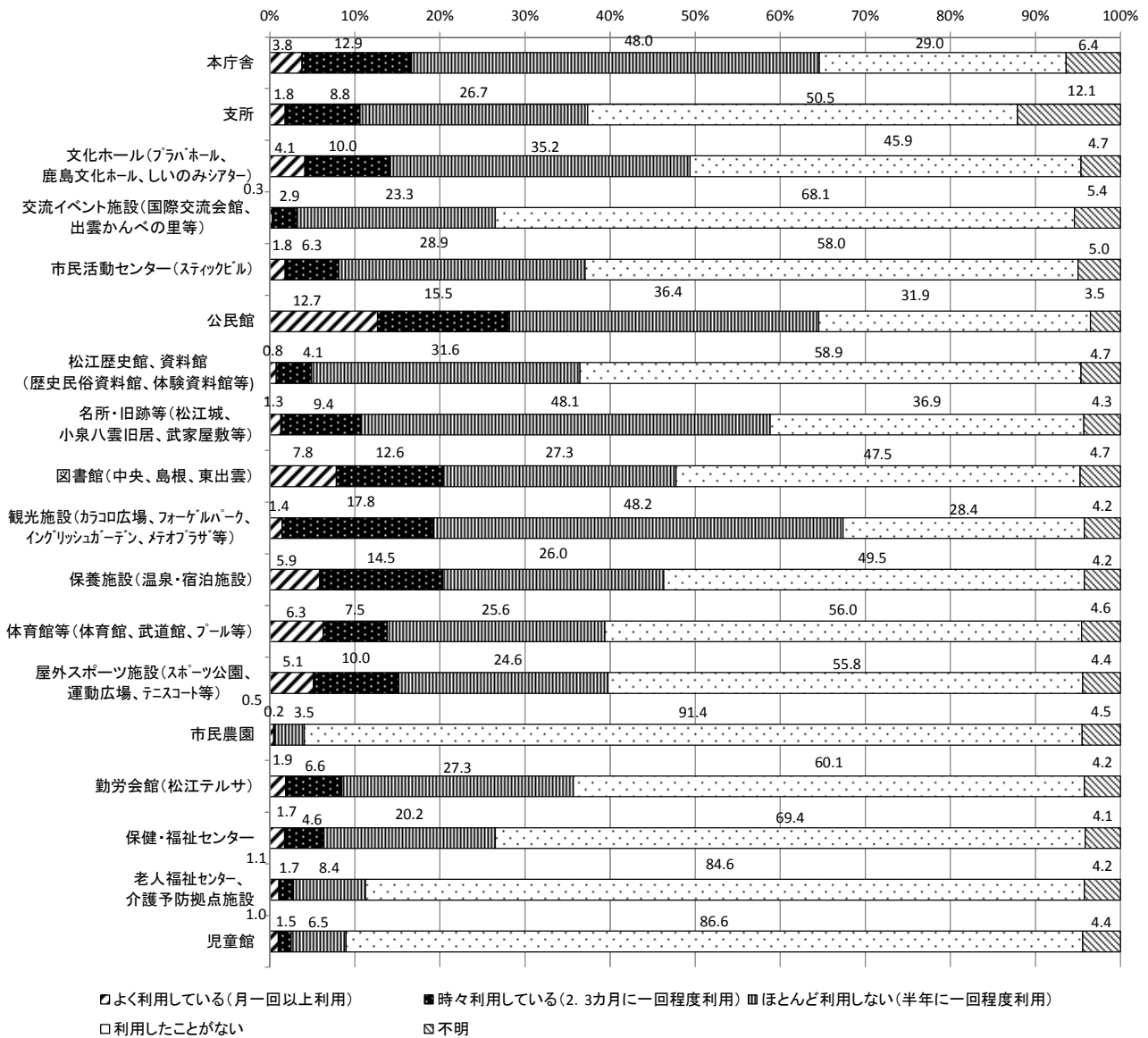
○ 旧松江市及び旧八束郡ともに、「知らなかった」が約8割と高く、一方知っている(「読んだ」または「知ってはいたが、読んではいなかった」と回答)は約2割となっています。



4 公共施設の利用状況

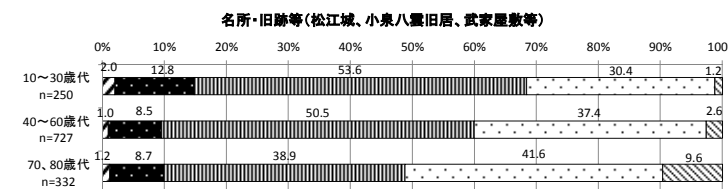
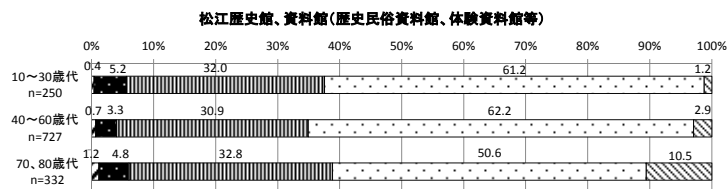
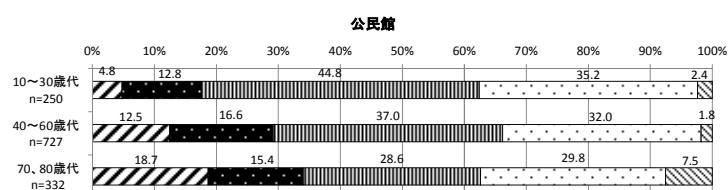
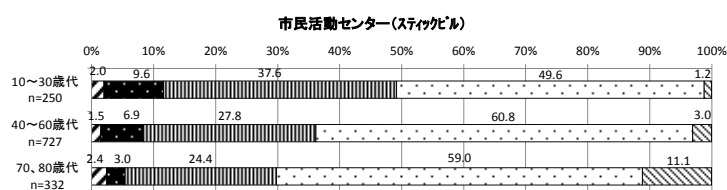
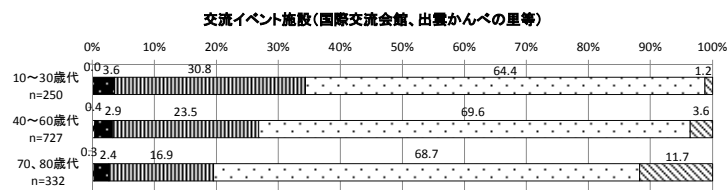
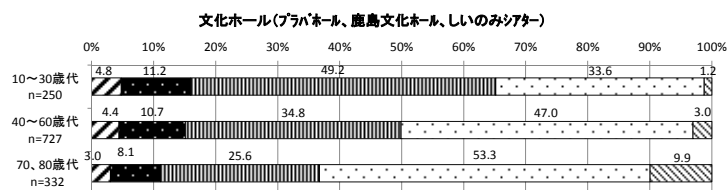
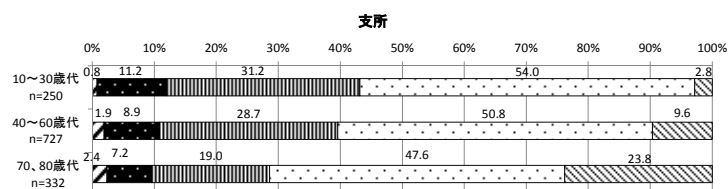
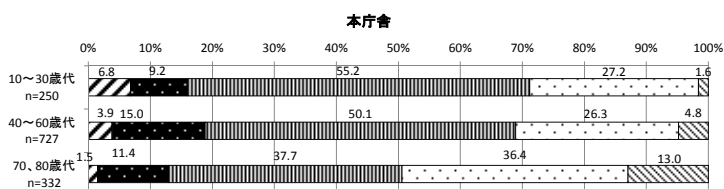
問3:あなた(ご自身)は市の公共施設(※)をどのくらい利用していますか。数字を1つ○で囲んでください。※不特定の市民が自由に利用する施設を対象としています。

- 利用頻度が低い方の割合（「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答）は、すべての施設で約7～9割となっています。
- 利用頻度が高い方の割合（「よく利用している」または「時々利用している」と回答）は、公民館が28.2%と最も高くなっています。



<参考:年齢階層別(3区分)の結果>

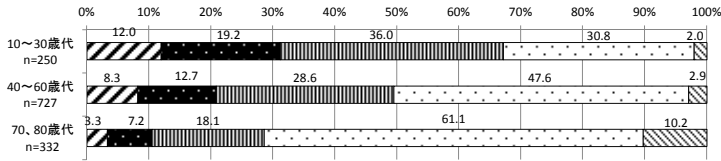
- 利用頻度が低い方の割合(「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答)に着目すると、次を除き、すべての施設において、各年齢階層で約7~9割となっています。
- 特に高いものは、『市民農園(10~30歳代98.8%、40~60歳代96.7%)』、『老人福祉センター、介護予防拠点施設(10~30歳代95.6%、40~60歳代96.0%)』、『児童館(40~60歳代95.9%)』、『交流イベント施設(国際交流会館、出雲かんべの里等)(10~30歳代95.2%)』となります。
- 一方、特に低いものは、『公民館(70、80歳代58.4%)』となります。



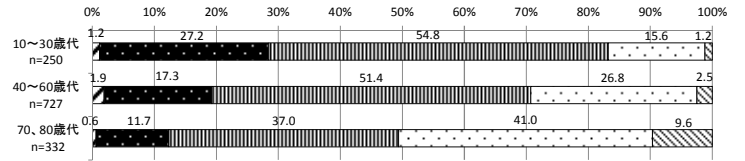
よく利用している(月一回以上利用)
 時々利用している(2.3か月に一回程度利用)
 ほとんど利用しない(半年に一回程度利用)

利用したことがない
 不明

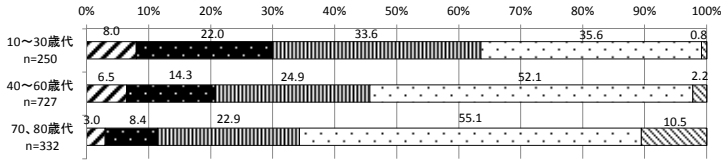
図書館(中央、島根、東出雲)



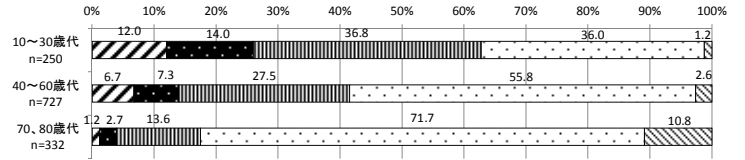
観光施設(カテコ広場、フォーゲルパーク、イングリッシュガーデン、マテオプラザ等)



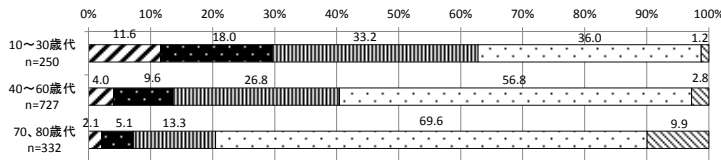
保養施設(温泉・宿泊施設)



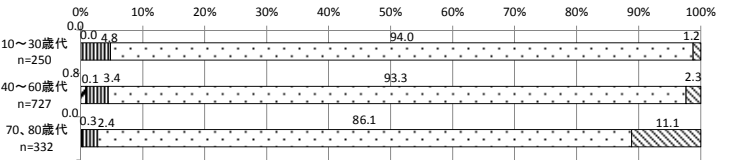
体育館等(体育館、武道館、プール等)



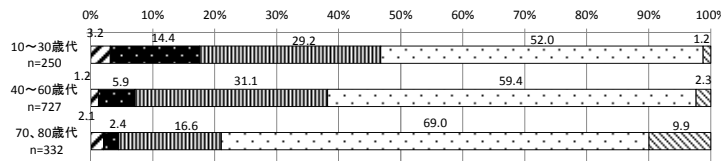
屋外スポーツ施設(スポーツ公園、運動広場、テニスコート等)



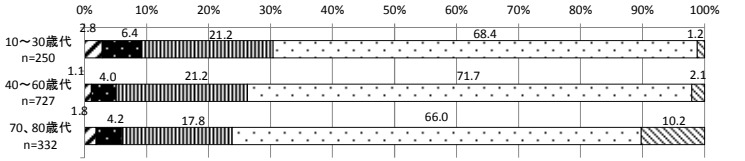
市民農園



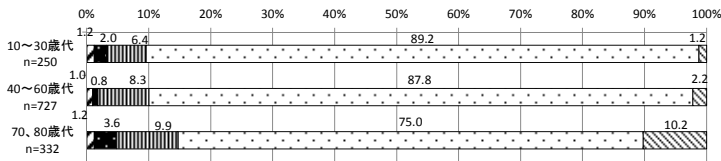
勤労会館(松江テルサ)



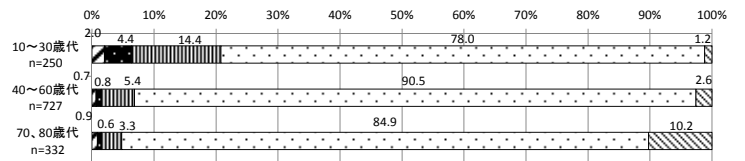
保健・福祉センター



老人福祉センター、介護予防拠点施設



児童館



■ よく利用している(月一回以上利用)

■ 時々利用している(2,3か月に一回程度利用)

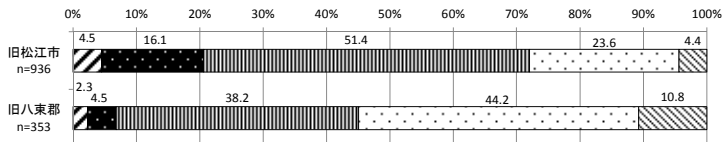
□ 利用したことがない

■ 不明

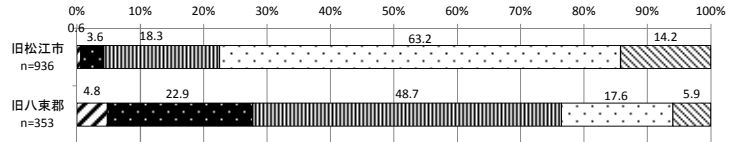
<参考:居住地域別(2区分)の結果>

○ 利用頻度が低い方の割合(「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答)に着目すると、『市民農園(旧松江市95.5%)』を除き、すべての施設において、旧松江市及び旧八束郡ともに約7~9割となっています。

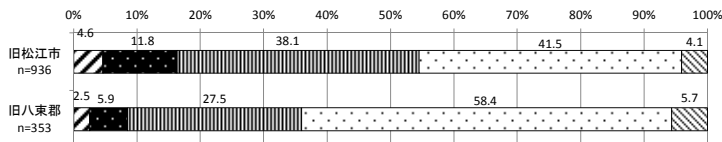
本庁舎



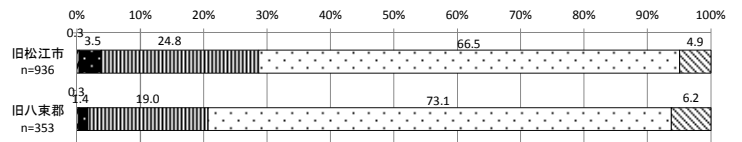
支所



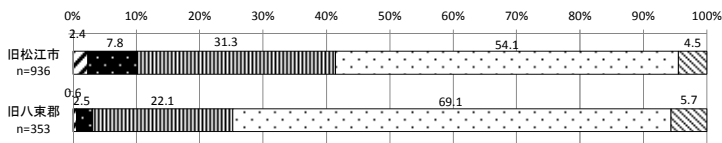
文化ホール(プラハホール、鹿島文化ホール、しいのみシアター)



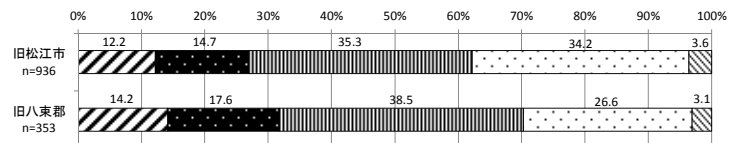
交流イベント施設(国際交流会館、出雲かんべの里等)



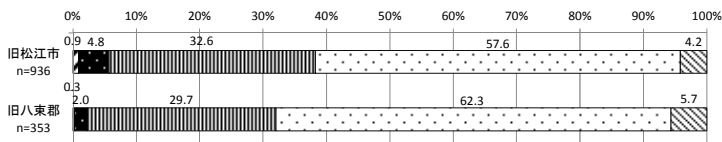
市民活動センター(スティックビル)



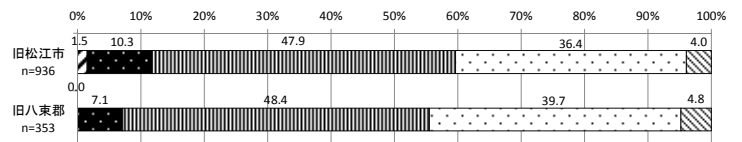
公民館



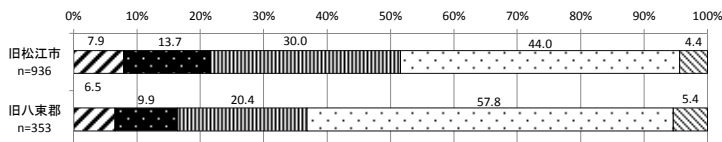
松江歴史館、資料館(歴史民俗資料館、体験資料館等)



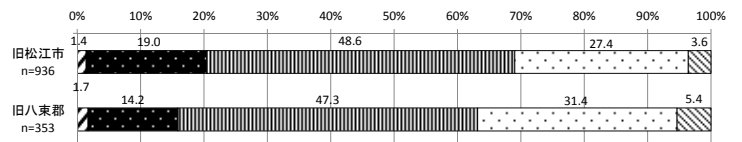
名所・旧跡等(松江城、小泉八雲旧居、武家屋敷等)



図書館(中央、島根、東出雲)



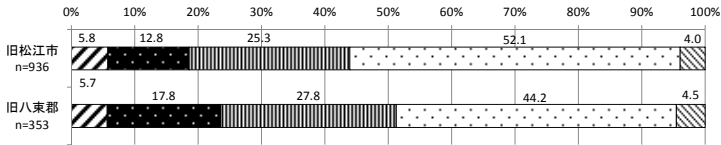
観光施設(カカロ広場、フォーゲルパーク、イングリッシュガーデン、メオプラザ等)



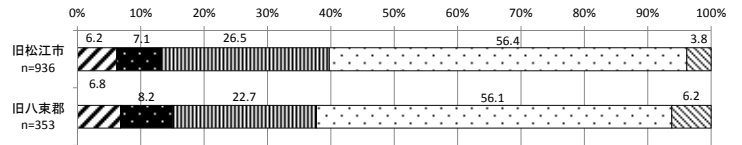
■ よく利用している(月一回以上利用)
□ 利用したことがない

■ 時々利用している(2,3か月に一回程度利用) ■ ほとんど利用しない(半年に一回程度利用)
□ 不明

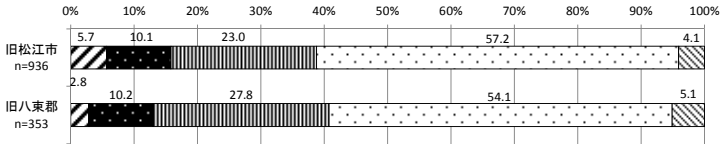
保養施設(温泉・宿泊施設)



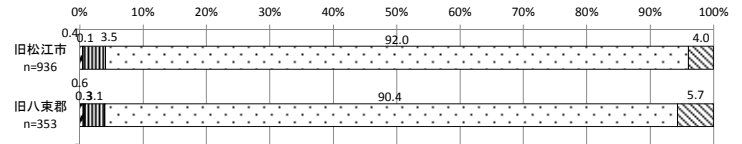
体育館等(体育館、武道館、プール等)



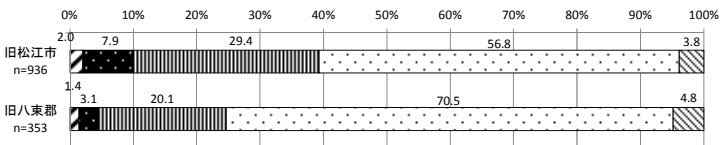
屋外スポーツ施設(スポーツ公園、運動広場、テニスコート等)



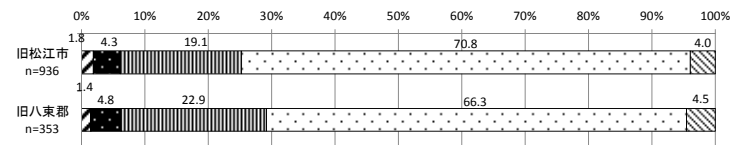
市民農園



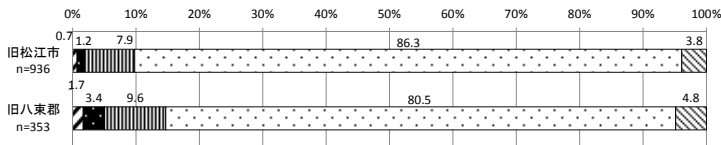
勤労会館(松江テルサ)



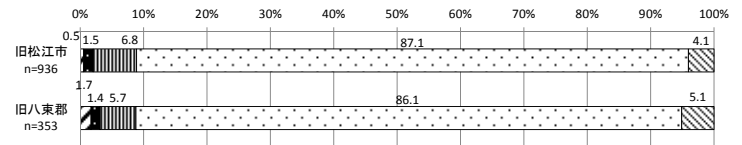
保健・福祉センター



老人福祉センター、介護予防拠点施設



児童館

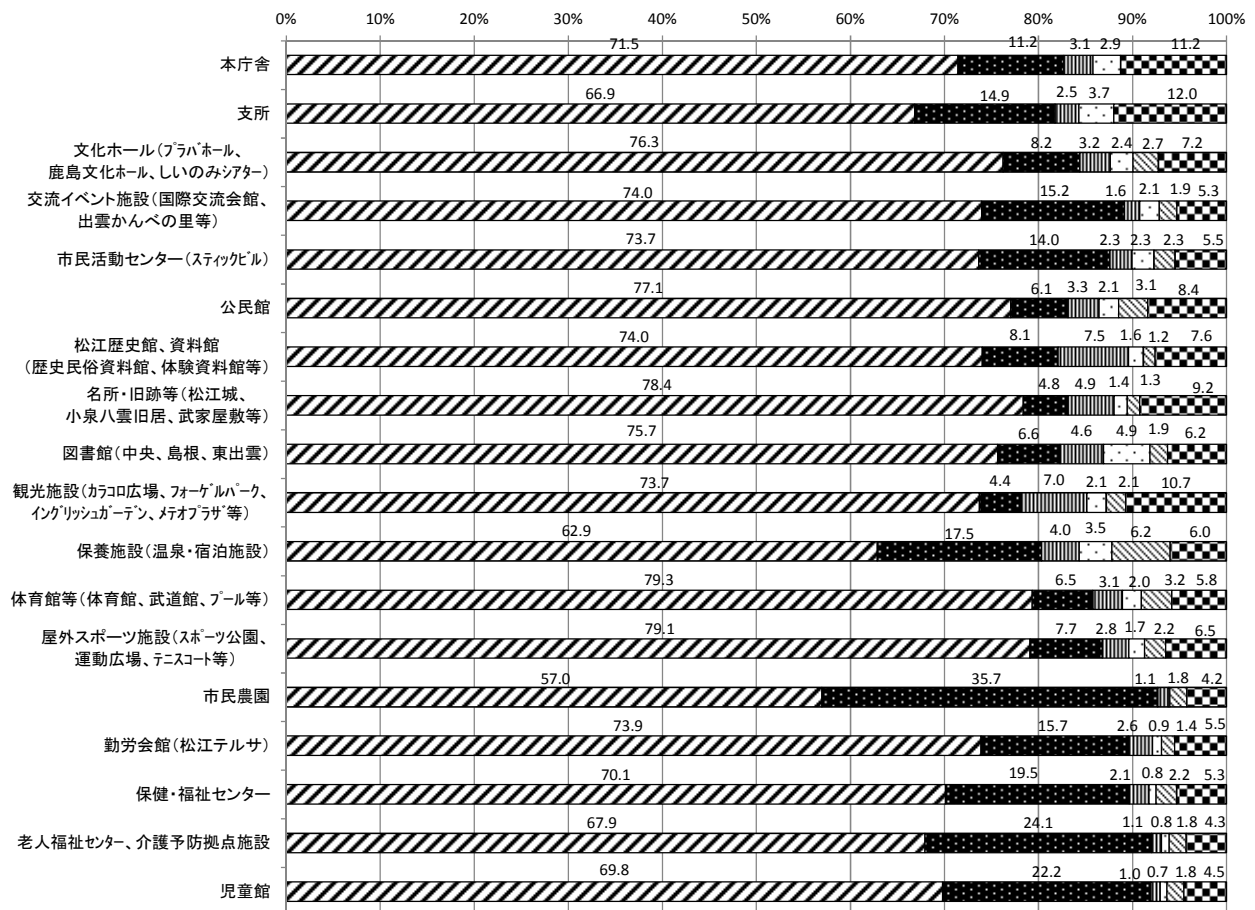


よく利用している(月一回以上利用)
 利用したことがない

時々利用している(2,3か月に一回程度利用) ほとんど利用しない(半年に一回程度利用)
 不明

問4:前問で、「2. ほとんど利用しない」「1. 利用したことがない」と回答された方にお聞きします。その理由は主にどのようなことでしょうか。数字を1つ〇で囲んでください。

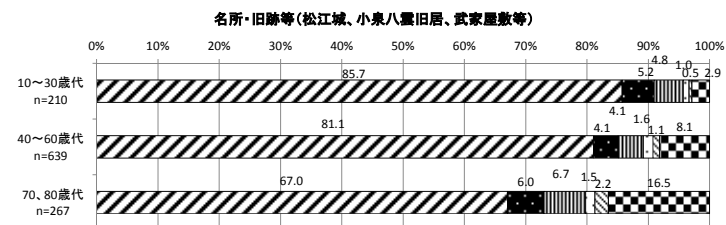
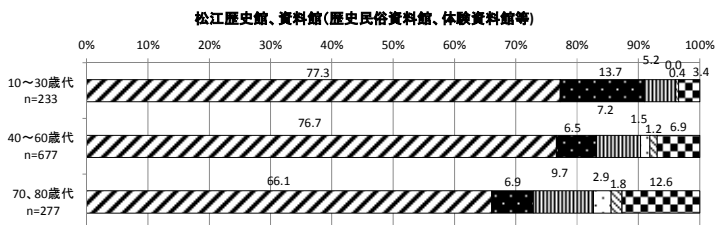
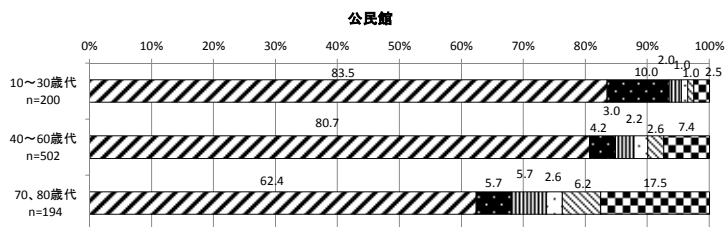
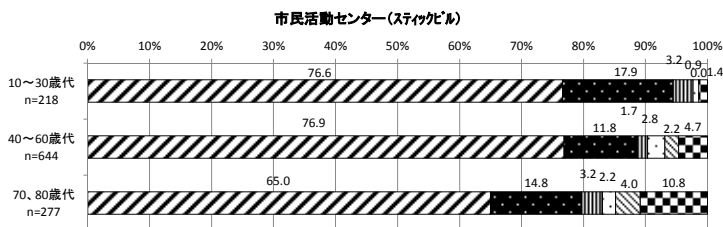
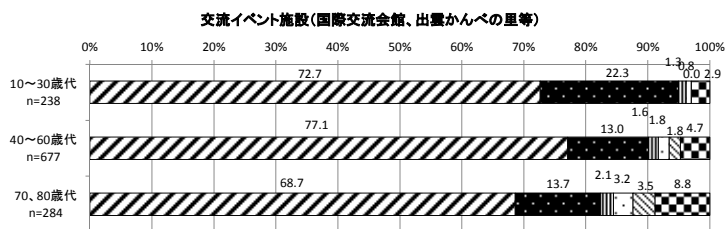
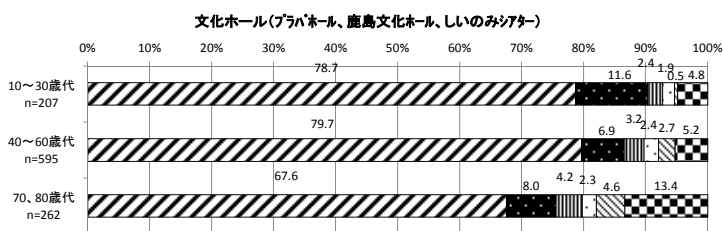
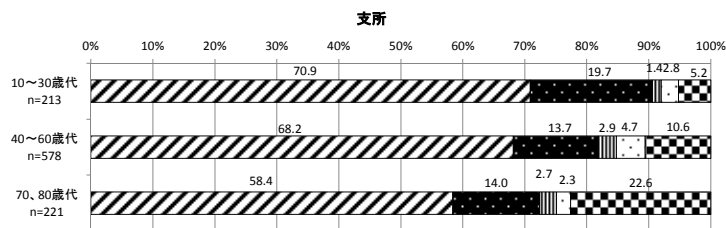
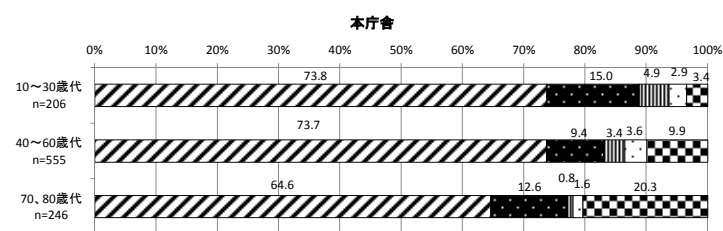
- 「施設の存在は知っているが利用する必要がない」がすべての施設で約6～8割となっています。
- 「施設の存在やサービス内容を知らない」と回答した割合については、市民農園(35.7%)、老人福祉センター、介護予防拠点施設(24.1%)、児童館(22.2%)、保健福祉センター(19.5%)が高くなっています。一方、観光施設(4.4%)、名所・旧跡等(4.8%)、公民館(6.1%)、体育館等(6.5%)、図書館(6.6%)、野外スポーツ施設(7.7%)、松江歴史館、資料館(8.1%)、文化ホール(8.2%)が低くなっており、施設毎にばらつきが見受けられます。



施設の存在は知っているが利用する必要がない
 施設の存在やサービス内容を知らない
 施設、サービス、利用時間、利用料などに不満がある
 他の市区、国や都の施設を利用している
 民間施設を利用している
 不明

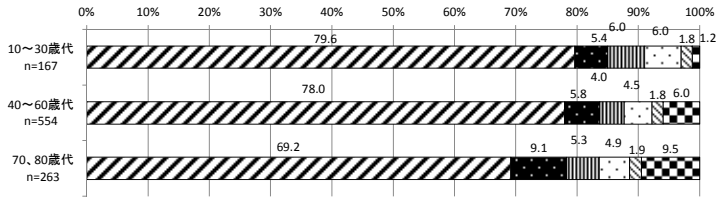
<参考:年齢階層別(3区分)の結果>

- 「施設の存在は知っているが利用する必要がない」に着目すると、次を除き、すべての施設において、各年齢階層で約6～8割となっています。
- 特に高いものは、『名所・旧跡等(松江城、小泉八雲旧居、武家屋敷等)(10～30歳代85.7%)』となります。
- 一方、特に低いものは、『市民農園(10～30歳代45.7%)』となります。

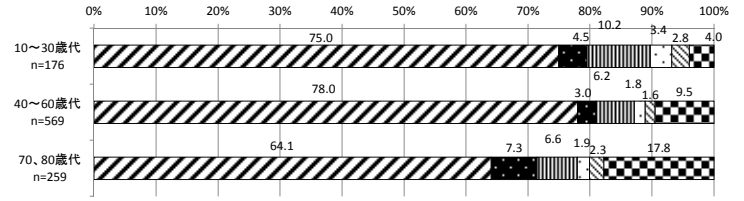


- 施設の存在は知っているが利用する必要がない
- 施設の存在やサービス内容を知らない
- ▨ 施設、サービス、利用時間、利用料などに不満がある
- 他の市区、国や都の施設を利用している
- ▨ 民間施設を利用している
- ▨ 不明

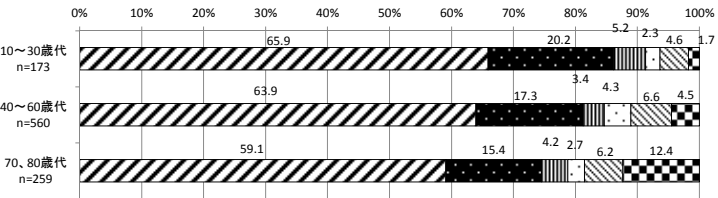
図書館(中央、島根、東出雲)



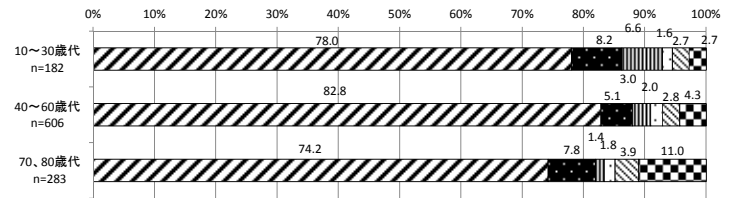
観光施設(カカロ広場、フォーゲルパーク、イングリッシュガーデン、アオプラザ等)



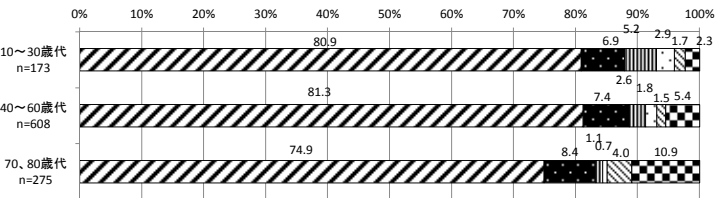
保養施設(温泉・宿泊施設)



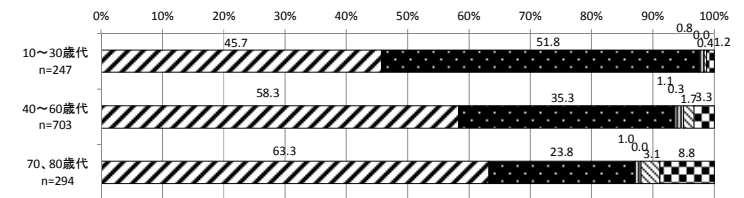
体育館等(体育館、武道館、プール等)



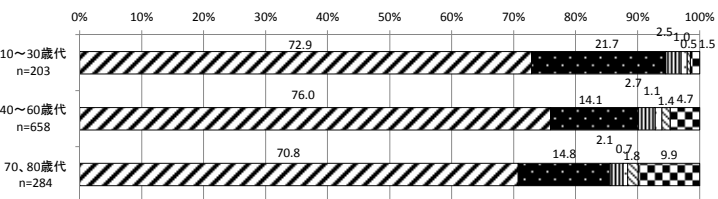
屋外スポーツ施設(スポーツ公園、運動広場、テニスコート等)



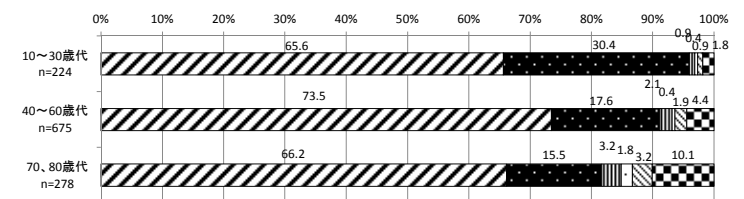
市民農園



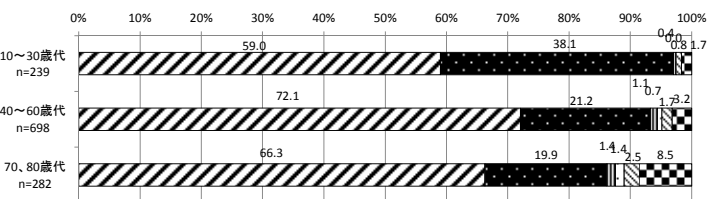
勤労会館(松江テルサ)



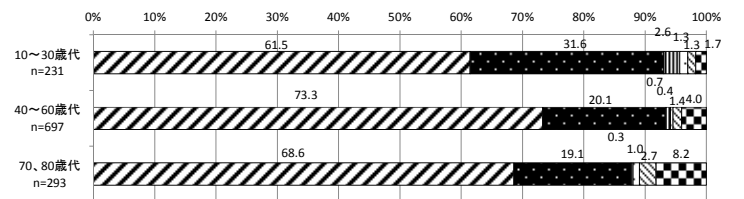
保健・福祉センター



老人福祉センター、介護予防拠点施設



児童館



■ 施設の存在は知っているが利用する必要がない

■ 施設の存在やサービス内容を知らない

■ 施設、サービス、利用時間、利用料などに不満がある

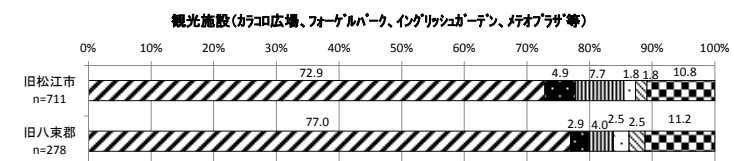
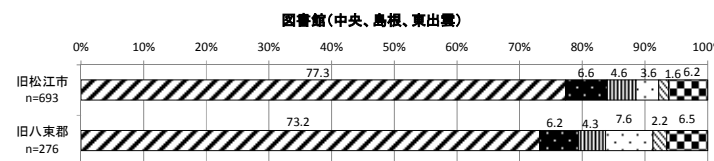
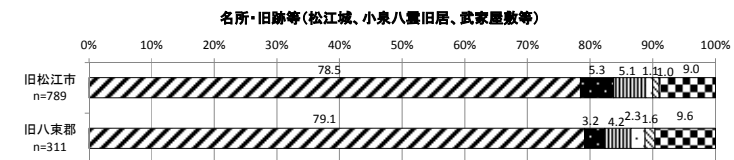
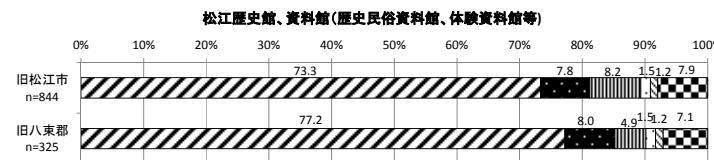
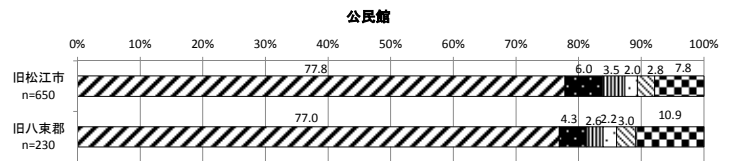
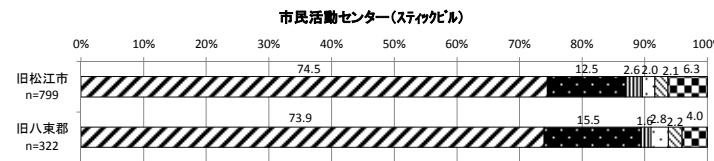
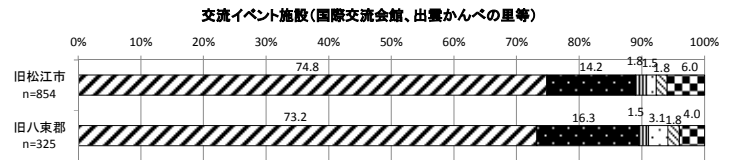
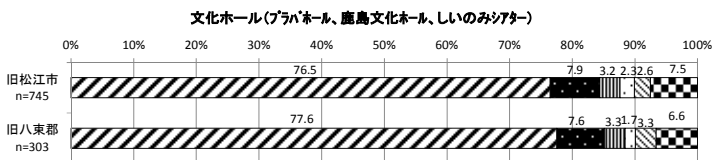
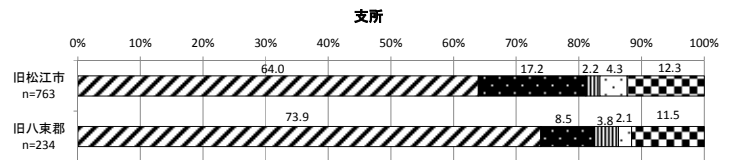
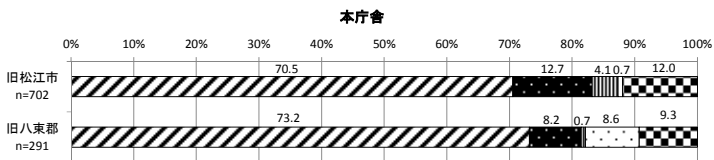
□ 他の市区、国や都の施設を利用している

□ 民間施設を利用している

□ 不明

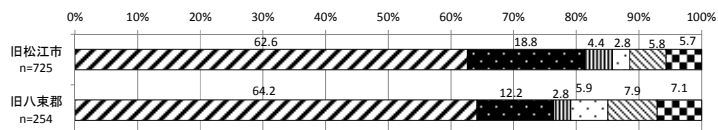
<参考:居住地域別(2区分)の結果>

○ 「施設の存在は知っているが利用する必要がない」に着目すると、すべての施設において、旧松江市及び旧八束郡ともに約6～8割となっています。

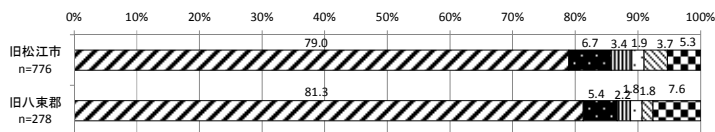


- 施設の存在は知っているが利用する必要がない
- 施設の存在やサービス内容を知らない
- ▨ 施設、サービス、利用時間、利用料などに不満がある
- 他の市区、国や都の施設を利用している
- 民間施設を利用している
- 不明

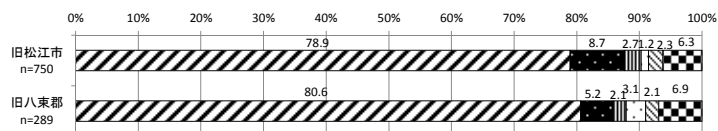
保養施設(温泉・宿泊施設)



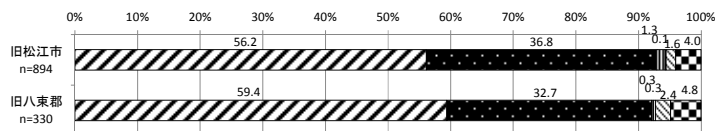
体育館等(体育館、武道館、プール等)



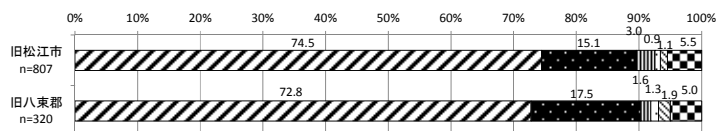
屋外スポーツ施設(スポーツ公園、運動広場、テニスコート等)



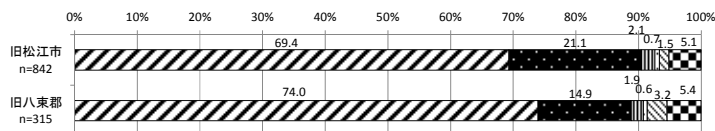
市民農園



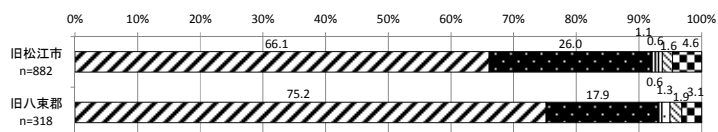
勤労会館(松江テルサ)



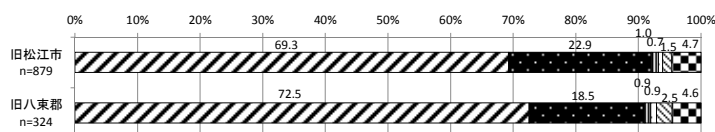
保健・福祉センター



老人福祉センター、介護予防拠点施設



児童館



■施設の存在は知っているが利用する必要がない

■施設の存在やサービス内容を知らない

■施設、サービス、利用時間、利用料などに不満がある

□他の市区、国や都の施設を利用している

□民間施設を利用している

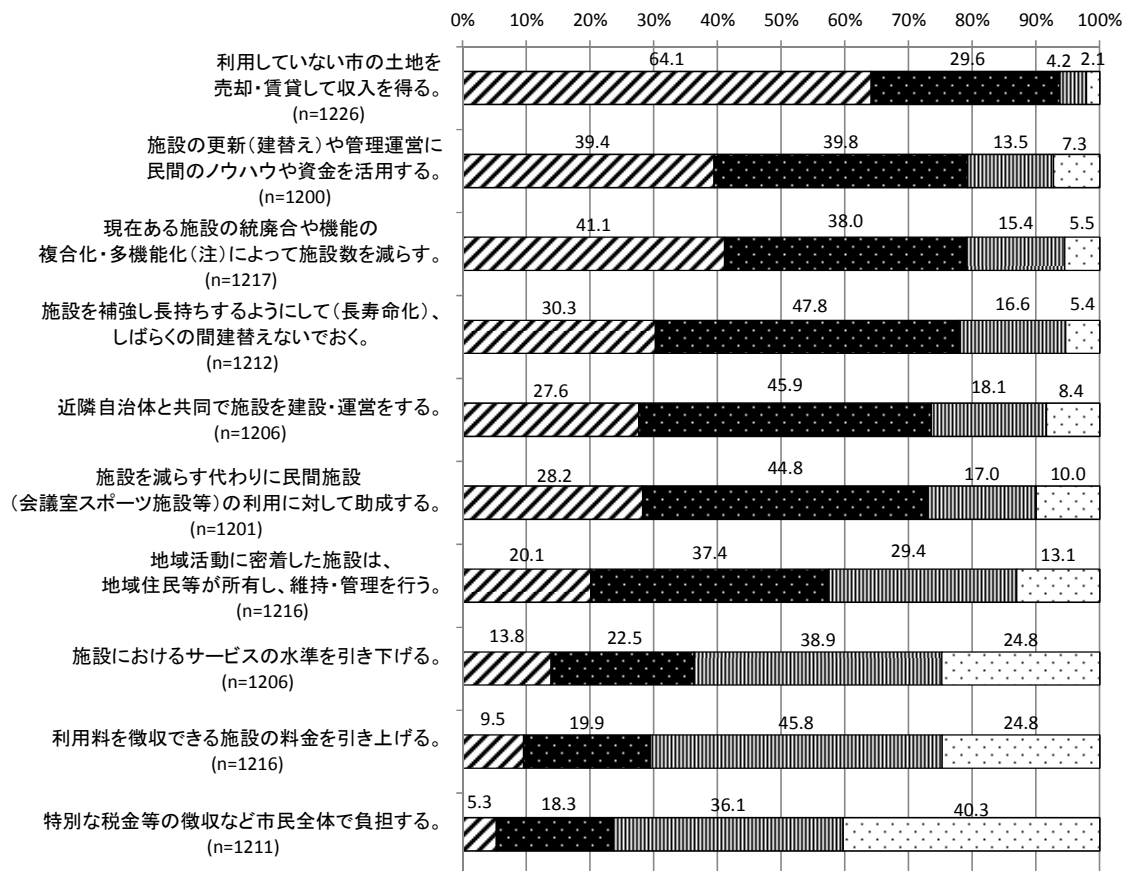
□不明

問5: 将来も安全で使い易い施設サービスを提供していくために、市では、保有する施設の統廃合や機能の複合化・多機能化(注)による「総床面積の削減」や「長寿命化」、「まちづくり」「民間活力の活用」、「受益者負担の見直し」などの視点を踏まえて、以下の方策を検討しています。これら市の保有する施設全般に関する方策について、あなたはどのように思いますか。数字を1つ〇で囲んでください。

(注) 複合化: 1つの施設に複数の機能を持たせること。

多機能化: そのときどきのニーズに合わせて機能を変えられるようにしておくこと。

- 消極的賛成を含めた賛成(「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」と回答)は、『利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る。』が93.7%と最も高くなっています。
- 一方、消極的反対を含めた反対(「実施すべきではない」または「どちらかといえば実施すべきではない」と回答)は、『特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。』が76.4%と最も高くなっています。



□積極的に実施すべき ■どちらかといえば実施すべき ▨どちらかといえば実施すべきではない □実施すべきではない

(注) 不明を除いた結果である。

【賛成・反対状況】

<用語説明>

- 1 賛成率：「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合。多数決の観点からの賛成、反対を示したもので、50%超なら賛成多数となる。
- 2 積極的賛成/反対比率：「積極的に実施すべき」を「実施すべきではない」で割った率。特に強い意志を持つ人だけを対象にその大きさを見たもので、1超なら積極的賛成多数、1未満なら積極的反対多数である（「どちらかといえば実施すべき」、「どちらかといえば実施すべきでない」を除いた比率である。）。

- 『利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る。』が賛成率及び積極的賛成/反対比率において最も高く評価されている。
- 一方、『特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。』が賛成率及び積極的賛成/反対比率において最も低く評価されている。

	賛成率 (%)	積極的賛成／ 反対比率	
賛成	利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る。	93.7	30.2
	施設の更新（建替え）や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	79.2	5.4
	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化（注）によって施設数を減らす。	79.1	7.5
	施設を補強し長持ちするようにして（長寿命化）、しばらくの間建替えないでおく。	78.1	5.6
	近隣自治体と共同で施設を建設・運営をする。	73.5	3.3
中立	施設を減らす代わりに民間施設（会議室スポーツ施設等）の利用に対して助成する。	73.0	2.8
	地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う。	57.5	1.5
反対	施設におけるサービスの水準を引き下げる。	36.3	0.6
	利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。	29.4	0.4
	特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。	23.6	0.1

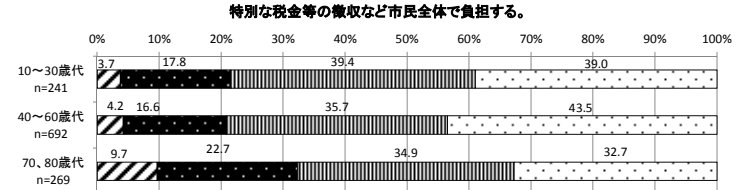
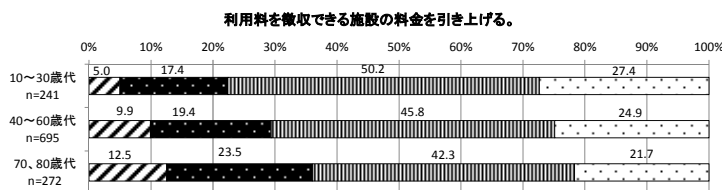
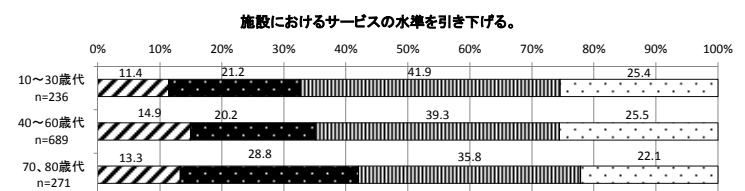
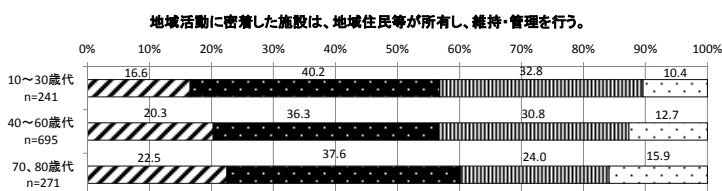
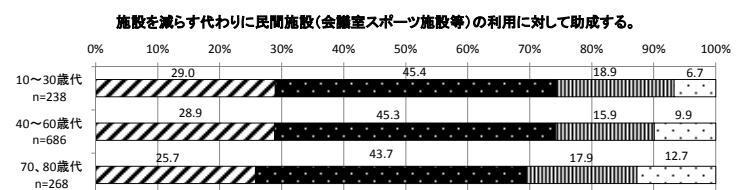
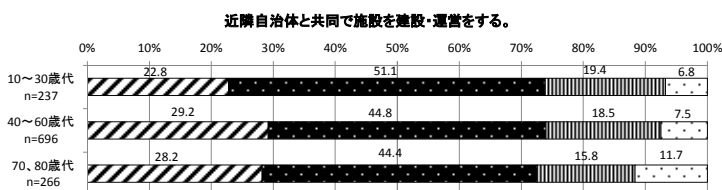
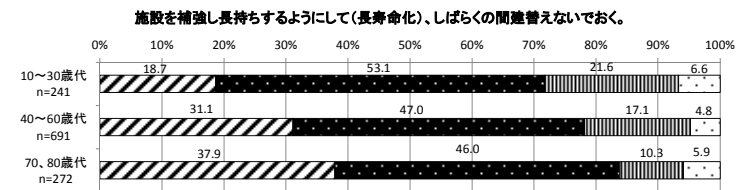
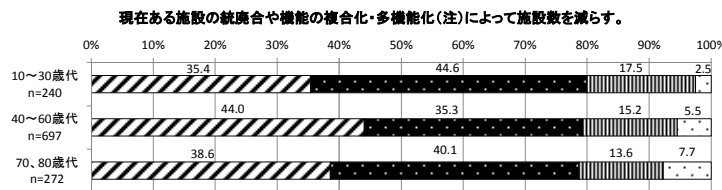
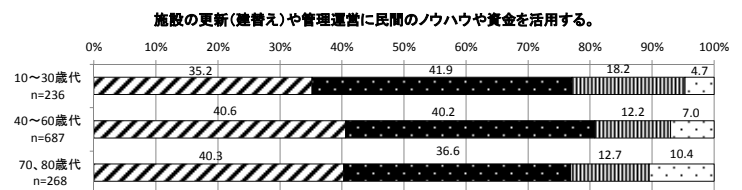
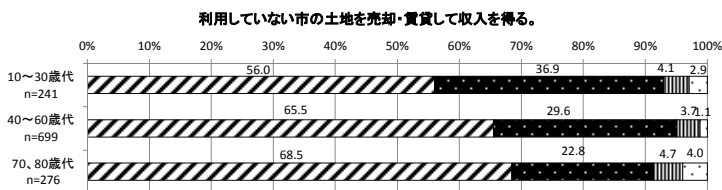
賛成率 = (「積極的に実施すべき」 + 「どちらかといえば実施すべき」) ÷ 全体

積極的賛成/反対比率 = 「積極的に実施すべき」 ÷ 「実施すべきではない」

(注) 不明を除いた結果である。

<参考:年齢階層別(3区分)の結果>

- 消極的賛成を含めた賛成(「積極的に実施すべき」または「どちらかと言えば実施すべき」と回答)の割合に着目すると、次を除き、年齢階層別で10.0ポイント未満の差に留まっている。
- 年齢階層別で10.0ポイント以上の差が出たものは、『施設を補強し長持ちするようにして(長寿命化)、しばらくの間建替えないで置く。(10~30歳代71.8%、70、80歳代83.8%)』、『利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。(10~30歳代22.4%、70、80歳代36.0%)』、『特別な税金等の徴収など市民全体で負担する。(10~30歳代21.6%、40~60歳代20.8%、70、80歳代32.3%)』である。

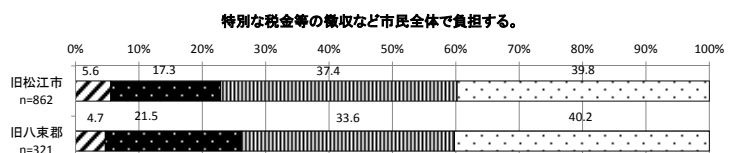
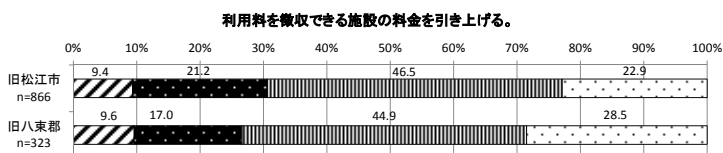
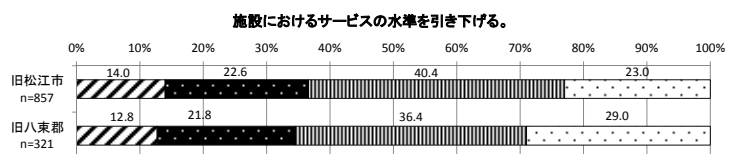
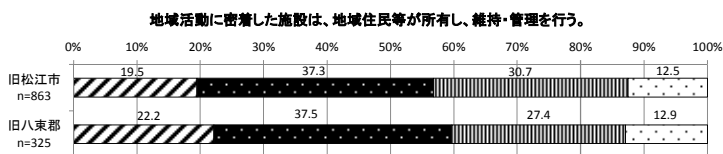
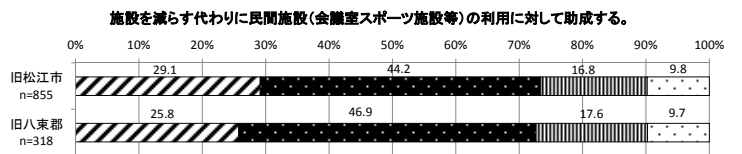
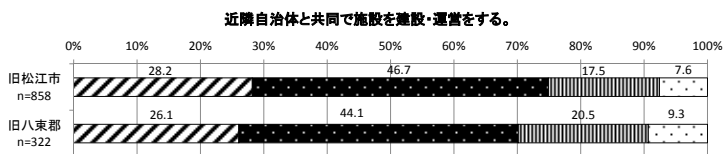
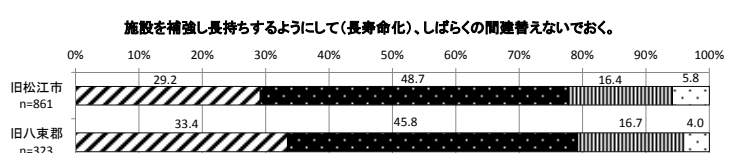
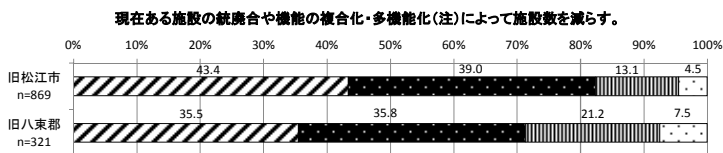
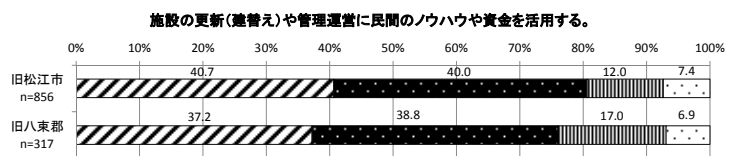
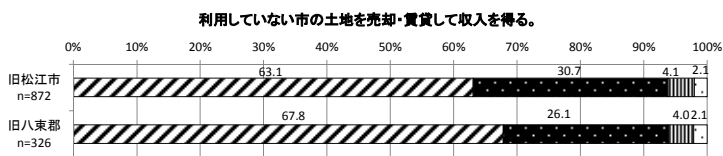


■ 積極的に実施すべき ■ どちらかといえば実施すべき ■ どちらかといえば実施すべきでない □ 実施すべきでない

(注) 不明を除いた結果である。

<参考:居住地別(2区分)の結果>

- 消極的賛成を含めた賛成(「積極的に実施すべき」または「どちらかと言えば実施すべき」と回答)の割合に着目すると、次を除き、年齢階層別で10.0ポイント未満の差に留まっている。
- 年齢階層別で10.0ポイント以上の差が出たものは、『現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化(注)によって施設数を減らす。(旧松江市82.4%、旧八束郡71.3%)』である。



■積極的に実施すべき ■どちらかといえば実施すべき ■どちらかといえば実施すべきでない □実施すべきでない

□積極的に実施すべき ■どちらかといえば実施すべき ■どちらかといえば実施すべきでない □実施すべきでない

(注) 不明を除いた結果である。

5 自由意見(概要)

(1) 方策

問5の方策以外に、あなたが必要と考える方策がございましたら、お聞かせください。

1 全般

- ・ 市の中心に公共施設を集中させる
- ・ 旧松江市とそれ以外の差を縮小すべき
- ・ 本庁舎を建て直し、その際、支所の機能を本庁舎に集中するなど効率化を図る
- ・ 県など関係機関との連携強化
- ・ 職員定数の削減など、行財政改革を行い、支出を削減
- ・ 企業を誘致し、若者の働ける場を創出
- ・ IターンやUターン施策の拡充

2 公共施設・インフラ

- ・ スケート場など誰もが楽しめるような公共施設を整備
- ・ 子育てがしやすい公共施設の充実
- ・ 高齢者が増えるので、福祉施設等の充実
- ・ 若者向けの公共施設の充実
- ・ 夜間や救急時の医療機関の機能の充実
- ・ 赤字施設の閉鎖
- ・ 利用方法等について、市民に一層の情報提供を
- ・ 施設利用料について、高齢者も相当の負担を負うべき
- ・ バスを増やすなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 渋滞が多いので、道路を増やすべき
- ・ 利用料金がリーズナブルな駐車場を増やし、商店街を活性化

3 観光地

- ・ 観光地としてどうすべきか皆で考える
- ・ 観光客向けのお店を充実させる
- ・ 温泉などの運営方法を見直すことで、お金を落としてくれるような工夫を
- ・ 観光地の駐車場を充実させる
- ・ 観光客に対しおもてなしの心を持つ

(2) ご意見

市の公共施設の量や質など、今後の公共施設の再編について、率直なご意見をお聞かせください。

1 全般

- ・ 利用状況、コスト、老朽化度合などを踏まえ、公共施設の見直しを進めるべき
- ・ 公共施設が多すぎる。利用されていない施設が多い
- ・ 選択と集中を断行すべき
- ・ 質を上げ、量を減らすべき
- ・ 優先順位をつけて更新を
- ・ 更新時には、必要性について利用する住民のニーズを聞く
- ・ 複合化するにしても中心部に集中するのは困る
- ・ 今ある施設の有効活用をするべき
- ・ 民間でできることは民間に任せるべき
- ・ 市営住宅の見直しをすべき
- ・ 財政破綻しないよう、職員を減らすなど合理化を進めて欲しい
- ・ 後世に負を残さないこと

2 公共施設の運営方法

- ・ 施設の場所、利用方法、サービス内容等をもっと市民に広報すべき
- ・ 使い勝手のいい曜日、時間帯の設定などサービスの質を上げて欲しい
- ・ 参加したくなるようなイベントを企画して欲しい
- ・ 利用者の負担の適正化を図るべき
- ・ 職員数などを見直すことで、コスト削減を
- ・ 管理は民間に委託すべき
- ・ 駐車場を無料、安くすることで利用者の増を

3 公共施設の確保

- ・ 地域のコミュニティを増進するような施設を作るべき
- ・ 高齢者が増えるので、福祉施設を充実させるべき
- ・ 子育てがしやすいような公共施設を
- ・ 子供からお年寄りまでだれもが楽しめる施設を作るべき
- ・ 地域によって公共施設の配置に差があるので、公平にして欲しい
- ・ バス等公共機関の整備を進めて欲しい
- ・ 道路を広くして欲しい
- ・ 駐車場を増やして欲しい

6 まとめ(主な特徴)

(1) 1 アンケート調査の実施概要

- ・ アンケートの有効回収率は44.3%と他のアンケートに比べ高くなっています(P1)。

(参考：他のアンケートの有効回収率)

松江市都市計画マスタープラン見直しに関するアンケート（平成25年9月実施）37.4%

武蔵野市公共施設再編に関するアンケート調査（平成25年6月実施）32.1%

札幌市市有建築物のあり方に関する市民アンケート（平成25年9月実施）34.2%

→本調査に対して、市民の積極的な協力がいただけた結果となっています。

(2) 3 市の取組

- ・ 市の公共施設の現状と課題について、約6割が関心を持っています(P8)。

→市民の過半数が関心を持っており、市民の期待に応えられるよう、公共施設のあり方の見直しに取り組むことが求められています。

- ・ 松江市公共施設白書を知らなかったのは約8割となっています(P10)。

→より一層、市民に対し情報提供に努める必要があります。

(3) 4 公共施設の利用状況

- ・ 各種公共施設について、利用頻度が低い方の割合（「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答）は、約7～9割となっています(P12)。

→利用者が少ないことだけで直ちに公共施設の廃止に繋がるわけではありませんが※、見直しにあたっての1つの検討材料といえます。

※例えば、老人福祉センター、介護予防拠点施設、児童館は、施設の目的上、利用対象者が限定されるため、必然的に割合が高くなります。

- ・ 利用頻度が低い理由として、「施設の存在は知っているが利用する必要がない」が約6～8割となっています。次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」が高くなっています(P17)。

→本当に必要な施設であるかどうかも含め、市民ニーズにあう公共施設のあり方を検討する必要があります。

- ・ 市の保有する施策全般に関する方策について賛成が多いのは、未利用地の売却・賃貸、民間ノウハウ・資金の活用、施設の統廃合・複合化・多機能化、施設の長寿命化、近隣自治体との連携、民間施設利用時の助成となっています。一方、反対が多いのは、増税や料金値上げとなっています(P22)。

→市民の負担に繋がらないよう、財政状況に見合った公共施設の見直しを進める必要があります。